（参考）学校視察会　視察校の状況等

資料１－８

＜　改　修　前　の　学　校　＞

（１）下足ロッカー（従来のサイズ）

（２）天井雨漏り

（３）劣化した床材（Pタイル）

（４）劣化した屋上防水

（５）改修前のトイレ（湿式の床）

（６）改修前のトイレ（ブースの様子）

＜　改　修　後　の　学　校　＞

（１）昇降口（サイズアップ後）

（２）天井

（３）床材（ビニル床）

（４）改修後の屋上防水

（５）改修後のトイレ（ドライ仕様の床）

（６）改修後のトイレ（ブースの様子）

＜　改修前の学校　＞

（７）劣化した外壁

（８）劣化した外壁（爆裂発生）

（９）体育館（フロア）

（１０）体育館（トイレ）

＜　改修後の学校　＞

（７）外壁

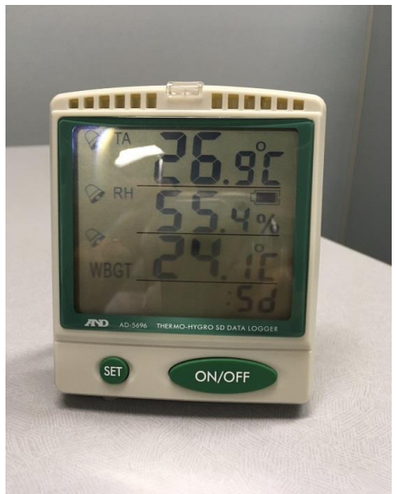
（８）外壁

（９）体育館（フロア）

（１０）体育館（トイレ）

＜　暑さ指標（ＷＢＧＴ）について　＞

【ＷＢＧＴ測定器】



【暑さ指標（ＷＢＧＴ）とは】　※環境省ウェブサイト（熱中症予防情報サイト）より

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、 ③気温の３つを取り入れた指標です。

○日常生活に関する指針

温度基準（ＷＢＧＴ）	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険（31℃以上）	すべての生活活動で起こる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒（28～31℃※）		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒（25～28℃）	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意（25℃未満）	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※（28～31℃）及び（25～28℃）については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。